

<概要>

- 14日、エクトル・セラヤ大統領私設秘書官が「大洋間鉄道建設国家委員会（CONACOFI）」の委員長に就任した。
- 20日、米国でエルナンデス前大統領の公判が開始した（その後、3月8日有罪評決となった）。
- 28日、国会にて、与野党間の合意のもと正式に検事総長らを選出された。

<本文>

1 外交

（1）中国との関係

ア UPNFM での孔子学院開設

1月29日、フランシスコ・モラサン国立教育大学（UPNFM）で、孔子学院が開設された。今後、同大学でホンジュラス初となる北京語及び中国絵画コースが実施される。開設式には、アナレラ・ベレス文化・芸術・文化遺産大臣、シンディ・ロドリゲス外務国際協力次官（国際協力担当）、アンジェリカ・スミス議員、エルメス・ディアス UPNFM 学長、Yu Bo 当地中国大使、David Wu Yi パナマ大学孔子学院理事らが出席した。

イ 中国企業による発電所建設プロジェクト入札

2月1日、エリック・テハダ・エネルギー大臣兼電力公社（ENEE）総裁は、昨年行われた国際企業による当国のエネルギー事業入札において中国エネルギー企業のチャイナ・エナジー・エンジニアリングが落札したと発表した。

ウ 中国との早期輸出協定締結

2月6日、フレディス・セラート経済開発大臣は、中国の Wang Shouwen 国際通商交渉代表兼商務次官と、両国の二国間貿易・経済協力の強化を目的に、早期輸出協定を署名した。同協定によって、ホンジュラス産エビは関税なしで中国市場に輸出される。

（2）レドンド国会議長のスペイン・モロッコ訪問

ア 2月13日、スペイン訪問中のレドンド議長は、国会議員間の連携・関係強化を目的に、フランシナ・アルメンゴル・スペイン下院議長（社会労働党）と会談した。

イ 2月14日、モロッコ訪問中のレドンド国会議長は、Enaan Mayara 参議院議長及び Rashid Talbi El Alami 衆議院議長と会談した。翌15日、レドンド国会議長は、モロッコで開催された南南協力に関する議会会議に出席した。

(3) 米国政府投資検討代表団の来訪

2月14日、ドライ・チャンネル拡大構想に関心を抱く米国政府投資検討代表団は、ホンジュラスを訪問し、政府関係者、ビジネス関係者、労働組合関係者らと会合した。

(4) エルナンデス前大統領の公判開始

2月20日、ニューヨーク連邦南部地裁でエルナンデス前大統領の公判が開始した。その後、3月8日、米国への麻薬密輸等の罪により、有罪評決が下された。なお、量刑は6月末に言い渡される予定。

2 内政・経済

(1) カストロ大統領の子ども向け予防接種キャンペーンキックオフイベントの出席

2月13日、全国の子どもたちに向けてホンジュラス政府が計750万回強の予防接種を実施する国家キャンペーンキックオフイベントが実施された。カストロ大統領と共に、政府側として、エクトル・セラヤ大統領私設秘書官、パレデス保健大臣、ダニエル・エスポンダ教育大臣、ナタリ・ロケ人権大臣、トマス・バケロ内務・司法・地方分権大臣、シンディ・ロドリゲス外務国際協力次官（国際協力担当）等が出席した。同イベントには、カルラ・パレデス保健大臣の招待を受け、中原大使も出席した。

(2) エクトル・セラヤ大洋間鉄道建設国家委員会委員長の就任

2月14日、昨年末設立された「大洋間鉄道建設国家委員会（CONACOFI）」は、ホンジュラスに来訪した米国代表団と会合を開、同委員会の委員長にエクトル・セラヤ大統領私設秘書官が就任したと発表した。

(3) カリム・クバイン在サンペドロスーラ名誉総領事の CCIC 会頭就任

2月22日、在サンペドロスーラ日本国名誉総領事も務める実業家のカリム・クバイン氏が、当国北部の商都サンペドロスーラを拠点とするコルテス商工会議所（CCIC）の会頭を選出する選挙で、773票を獲得し、対抗馬であるルネ・ベンダニャ氏（420票）に勝利した。

(4) 2024～2025年最低賃金見直し合意

2月26日、経営者、労働組合、政府の三者は47日間の交渉を経て、最低賃金引き上げに合意した。同合意は、2024年1月1日から遡及され、2024～2025年まで適用される予定（繊維産業は2026年まで）。繊維産業を除く企業の雇用者数に基づく最低賃金引き上げ割合は以下の通り。

雇用者数	2024年	2025年
1～10名	5.5%	5.5%
11～50名	5.5%	5.5%
51～150名	6.5%	6.5%
150名以上	7.0%	7.0%

繊維産業の最低賃金引き上げ割合（2024～2026年）（月給～時給はレンピラ表記）

	2024年	2025年	2026年
	6.5%	7.5%	8%
月給	11,137.01	11,972.29	12,930.07
週給	2,598.64	2,793.53	3,017.02
日給	371.23	399.08	431
時給	46.40	49.88	53.88

（5） 検事総長らの選出に関する与野党間の合意

2月28日、ホンジュラス国会は、128票中110票（うち国民党42票、自由党20票）の賛成票のもと、検事総長及び次長の選出を承認した。検事総長は、常任委員会で選出されたジョエル・セラヤ（リブレ党）で変更はない一方で、検事次長は、暫定的に務めていたマリオ・モラサン（リブレ党）からマルシオ・カバニャス（自由党）に変更された。

（6） ホンジュラスのICSIDからの脱退通達

国際投資紛争センター（ICSID）は、HP上で、2月24日にホンジュラス政府から同センターを脱退するとの書面を受理したと発表した。

<主要経済指標>

◇主要経済指標	2023 年		
	2024 年 1 月	12 月	11 月
インフレ率（前年同月比）	5.00	5.19	5.04
貿易収支（百万ドル）	—	—	—
輸出（百万ドル）	—	—	—
輸入（百万ドル）	—	—	—
外貨準備高（百万ドル）	7,396.4	7,555.9	7,546.0
外国からの送金（百万ドル）	—	—	—
為替レート（対ドル月平均）	24.77	24.77	24.80

（出典：ホンジュラス中央銀行）

※貿易収支、輸出入、外国送金に関する公表された直近の数値（2023 年 9 月分）は、貿易収支（▲4,209.8 百万ドル）、輸出（8,968.4 百万ドル）・輸入（13,178.2 百万ドル）、外国送金（6,708.8 百万ドル）である。

（了）